

投資顧問業者登録番号
近畿財務局長 第148号

IPO
culture

アイピーオーカルチャー

今行く道がある
明日に続く道がある。

Initial Public Offering

会 員 情 報

銘柄情報 浮動株数予測 初値予想
比較表分析資料 セカンダリーの窓

ホームページ <http://ipo.bz/> お問い合わせ先 I P Oカルチャー

この資料は投資を勧誘するものではありません。投資はご自身の判断でお願い致します。

銘柄情報

作成 2006/11/29

銘柄 共英製鋼 (5440)

想定価格 2,400 円 調達額 240.5 億円 市場 東証・大証

公開株数 A 1,002.2 万株 単位 100 株

(記号のAはオーバーアロットメントを含めた場合の数値です)

当社は創業以来、半世紀を越える年月の中で培った生産技術を基にして、電気炉を使い鉄スクラップから鉄鋼製品を作り出す鉄鋼事業を中核とした企業集団である。昨今、地球環境保全が世界的な重大問題となっているが、他社に先駆けて当社は鉄スクラップのリサイクルのみならず、電気炉インフラを利用した医療廃棄物、産業廃棄物などの溶融処理事業も推進している。

鉄鋼業界で最大量の外販品種は鉄筋棒鋼だ。当社は建設業者(ゼネコン)向けにその主力資材であるコンクリート補強用棒鋼を供給し「土建国家日本」の発展を支えてきた。生産量ではトップシェア(子会社分を入れてノミナルキャパシティー年間 250 万トン)でありマーケットに於けるプレーヤーとして評価が高い。現在、日本の電炉鋼の生産量は米国と肩を並べ世界最大である。また、日本の鉄鋼生産量の三分の一は電炉鋼である。

メスキュード・・・注射針・注射筒・メス・検査機材・その他液に付着したものなど、病院や診療所からは、多種多様な医療廃棄物が発生する。近年、B型肝炎やエイズなどの感染の危険性が問題となり、感染性の注射針や薬剤容器の不法投棄が環境汚染を引き起こすなど、医療廃棄物の安全で確実な処理方法の確立が望まれてきた。こうしたニーズに応えて、当社では鉄鋼メーカーとして培ったノウハウを活用し、2000 以上の高熱となる電気炉を有効利用してこれらの医療廃棄物を完全無害化溶融する「メスキュードシステム」(特許取得)を開発している。

2006年3月期の販売実績 (百万円)

鉄鋼事業	142,021	前年比	108.3%
環境リサイクル事業	8,789	前年比	118.2%
その他の事業	566	前年比	120.3%
消却又は全社	- 2,066	前年比	175.8%
合計	149,309	前年比	108.3%

業績推移

単位 100 万円、1 株利益と配当は円

決算期	売上高	経常利益	利益	1 株利益	配当
2005.3	137,811	24,905	15,063	414.50	6.00
2006.3	149,309	29,517	17,412	478.98	12.00
(予) 2007.3	153,000	23,000	15,500	355.51	30.00
(予) 2008.3	調査中	調査中	調査中	調査中	調査中

幹事予定証券会社

(幹事証券会社は変更になる事があります)

証券会社	引受け予想株数	支店配分予想(口数)
野村	A 6,969,400	225~450
新光	A 785,000	35~70
大和	A 785,000	30~60
三菱UFJ	A 785,000	25~50
高木	A 218,000	75~155
コスモ	A 218,000	30~60
岡三	A 218,000	18~36
SBIイー・トレード	A 43,600	ネット配分

(証券会社情報は会員ページをご覧ください。記号のAはオーバーアロットメントを含んだ数値です。)

仮条件 2,200 円 ~ 2,400 円

仮条件は想定価格が上限で決まった。

浮動株数予測 1,002.2 万株

公開株数 1,002.2 万株 (オーバーアロットメント 130 万株を含んだ場合。)
ベンチャーキャピタル持ち株 9 万株 (全てロックアップなし。)
新株予約権等の潜在株式総数 0 株
既存株主のロックアップ割合 53.2% (公開後に公募価格の 2 倍になれば解除される。)

比較表分析 評価

類似企業は、電炉メーカーとなるので合同製鐵、東京鐵鋼、大阪製鐵、大和工業などが考えられます。今期経常利益は横這いで最終利益は減益予想となっているが、類似企業の殆どが販売単価安とスクラップ価格上昇による板挟みで似たような状況である。

類似企業は、事業規模が大きい企業の評価がやや高くなっている。当社は、売上げ規模では東京製鐵に次ぐ規模であり、経常利益では大和工業に次ぐので高めの評価が可能であろう。P E R や時価総額から割安と思われる。

評価を とします。

評価表の記号説明

- は公募価格に対して初値が 9 9 % の確率で上がると思われる
- △ は公募価格に対して初値が 9 5 % の確率で上がると思われる
- は公募価格に対して初値が 8 0 % の確率で上がると思われる
- ◇ は公募価格に対して初値が 6 0 % の確率で上がると思われる
- × はリスクが大きいと思われる

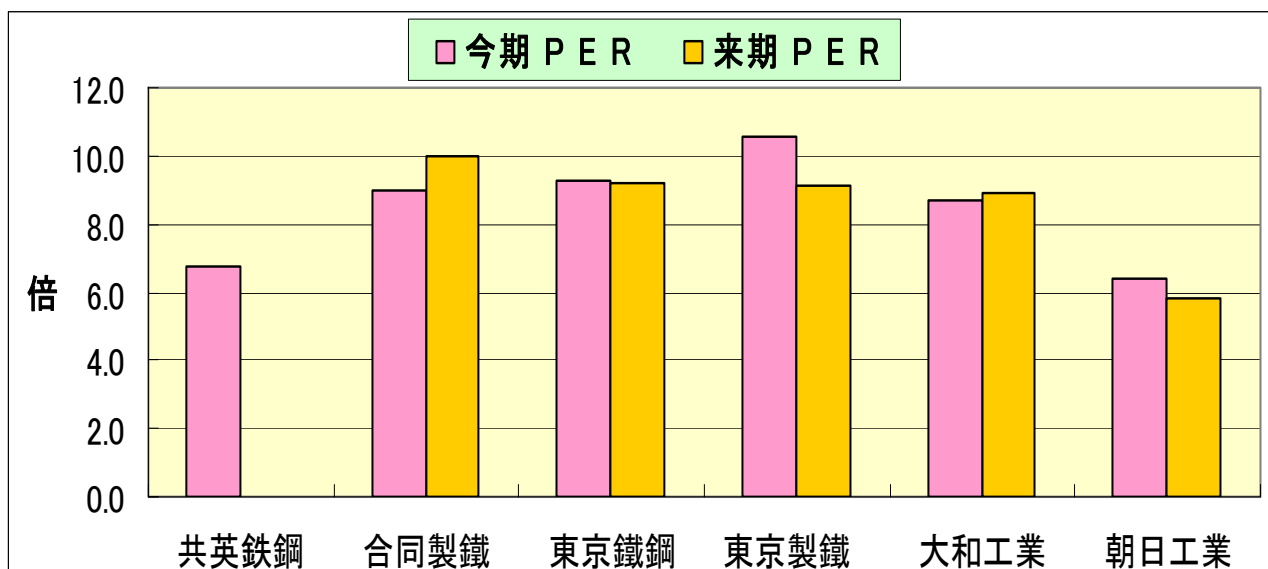
市場	東証・大証	東証1部	東証1部	東証1部	東証1部	ジャスダック
会社名	共英鉄鋼	合同製鐵	東京鐵鋼	東京製鐵	大和工業	朝日工業
コード	5440	5410	5445	5423	5444	5456
ランク	CBA	CBC	CCC	CAA	CAA	CBC
今期経常成長率	1%	減益	減益	減益	16%	減益
来期経常成長率		やや回復	横這い	やや回復	横這い	やや回復
今期－EPS(円)	356	64	100	161	308	40,278
来期－EPS(円)		57	101	187	301	44,444
売買単位(株)	100	1000	1000	100	100	1
決算月	3月	3月	3月	3月	3月	3月
配当金(円)	¥30	¥8	¥8	¥20	¥32	¥3,400
配当利回り	1.3%	1.4%	0.9%	1.2%	1.2%	1.3%
発行株数(株)	43,598,730	160,452,113	46,826,528	155,064,249	73,100,000	72,000
浮動株%	23%	17%	27%	7%	5%	15%
時価総額(百万円)	104,637	91,779	43,595	264,229	195,908	18,576
PSR	0.68	0.73	0.67	1.20	1.88	0.40
時価総額/経常利益	4.5	6.4	5.0	6.2	5.2	3.7
従業員数(人)	1,062	978	565	937	1,164	503
株価(円)	2,400	572	931	1,704	2,680	258,000
今期 P E R	6.8	9.0	9.3	10.6	8.7	6.4
来期 P E R		10.0	9.2	9.1	8.9	5.8
売上げ(百万円)	153,000	126,000	65,000	220,000	104,000	46,800
営業利益(〃)			9,400	42,000	11,500	5,200
経常利益(〃)	23,000	14,300	8,700	42,500	37,500	5,000
利益(〃)	15,500	10,200	4,700	25,000	22,500	2,900
総資本(百万円)	154,177	163,367	54,070	269,470	184,298	30,288
株主資本(〃)	74,525	73,514	18,012	210,373	132,421	13,936
有利子負債(〃)	24,793	43,259	20,576	0	12,045	3,903
株主資本比率	48%	45%	33%	78%	72%	46%
1株資産(円)	¥1,709	¥458	¥385	¥1,357	¥1,812	¥193,556
PBR	1.40	1.25	2.42	1.26	1.48	1.33
総資本利益率 ROA	10.1%	6.2%	8.7%	9.3%	12.2%	9.6%
株主資本利益率 ROE	20.8%	13.9%	26.1%	11.9%	17.0%	20.8%
営業利益率			14.5%	19.1%	11.1%	11.1%
経常利益率	15.0%	11.3%	13.4%	19.3%	36.1%	10.7%
有利子負債比率	16%	26%	38%	0%	7%	13%
売上/従業員(百万円)	144.0678	128.8344	115.0442	234.7919	89.3471	93.0417
経常/従業員(〃)	21.6573	14.6217	15.3982	45.3575	32.2165	9.9404
利益/従業員(〃)	14.5951	10.4294	8.3186	26.6809	19.3299	5.7654

比較表と棒グラフは仮条件の上限で作成しています。

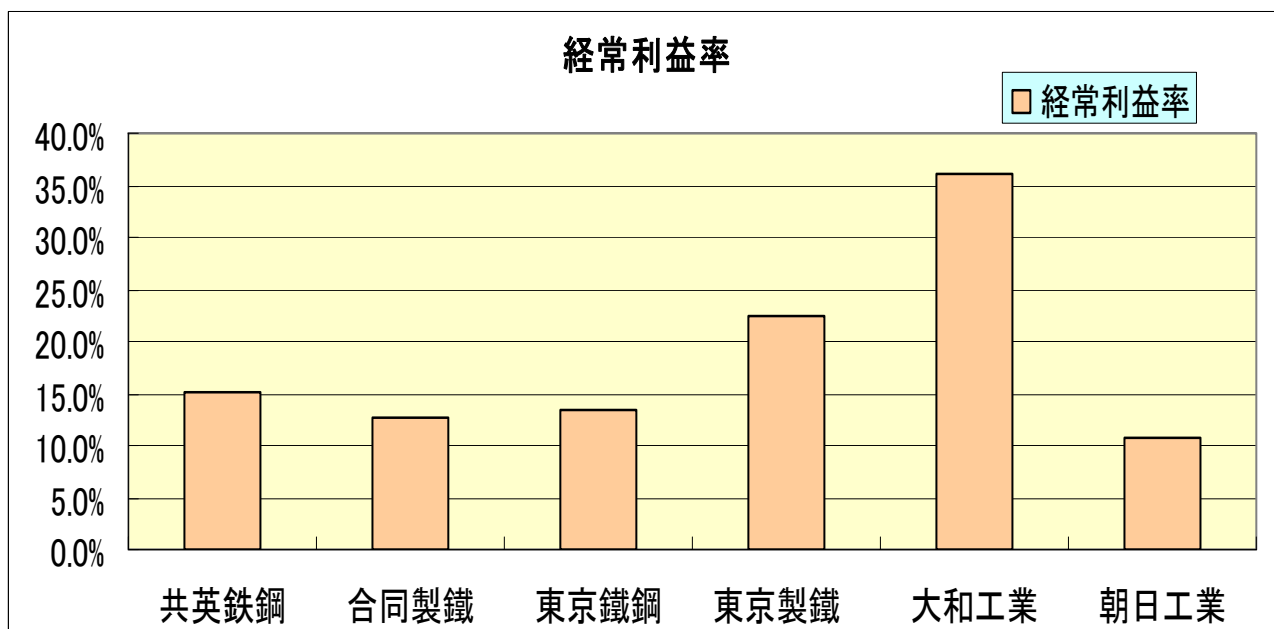
比較表のランク記号説明（単純比較に便利です）

	経常利益成長率（左）	株主資本比率（中）	配当50円額面換算（右）
S	毎年新たに50%以上	80%以上	有配30円以上
A	毎年新たに30%以上	60%以上	有配20円以上
B	毎年新たに10%以上	40%以上	有配10円以上
C	過去最高益に満たない	20%以上	有配
D	経常赤字	上記以外	無配

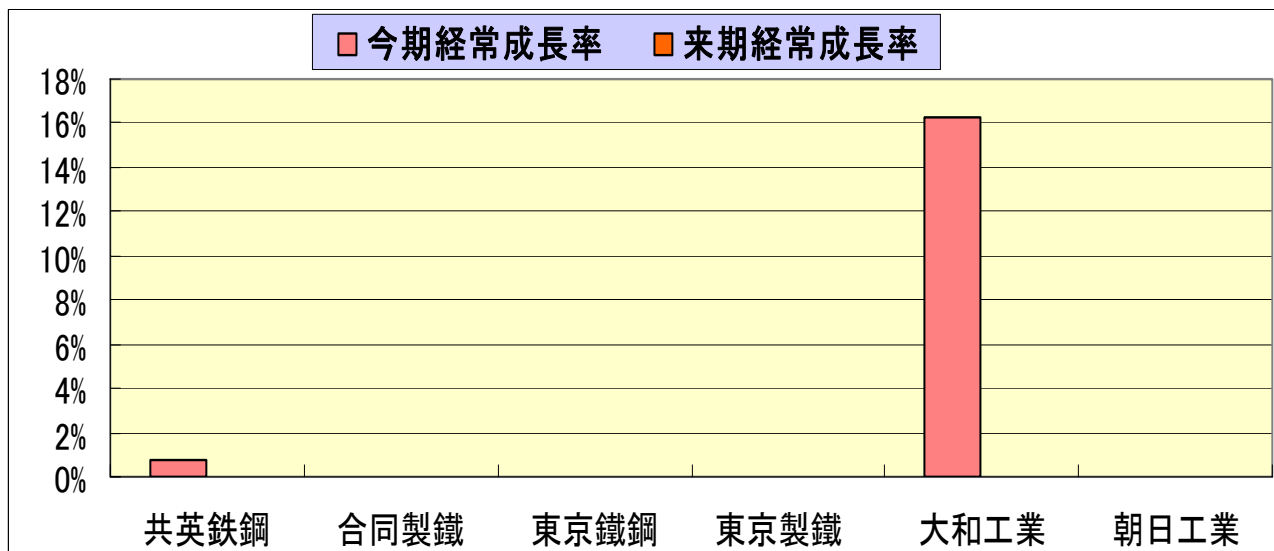
PER（株価収益率、棒グラフの低い方がリスクは少なく、上値余地がある）



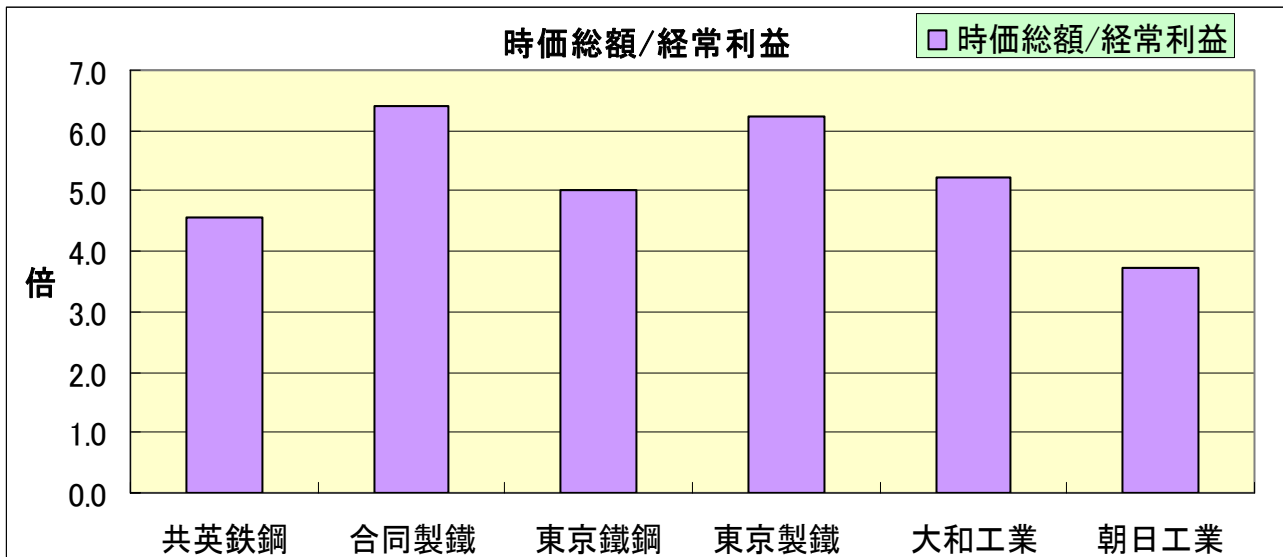
経常利益率（棒グラフの高い方が、利益が出ている）



経常利益成長率（棒グラフの高い方が、成長が早い）



時価総額 / 経常利益 (棒グラフの低い方がリスクは少なく、上値余地がある)



ブックビルディング前の初値予想

B B 前 初値予想 2,500 ~ 3,000 円

公募価格が仮条件の上限で決まった場合に、初値予想を 2,500 ~ 3,000 円とします。

公募価格

一円

セカンダリーの窓

初値予想 一円

評価値 一円